

令和元年6月12日 公告  
木川第2住宅1・2号館解体撤去工事  
設計図書の一部に誤りがありました。下記の正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
図面No.2 解体撤去工事概要・付近見取図・配置図	アスベスト含有建材使用箇所表 住棟外壁 外装吹付塗材 指定材吹付	アスベスト含有建材使用箇所表 (削除)

解体撤去工事概要

工事場所： 大阪市淀川区西宮原1丁目					
撤去戸数	住棟	1号館 (2DK・3DK)	1棟	50戸	(10連戸)
		2号館 (3DK)	1棟	20戸	(4連戸)
	計		2棟	70戸	
延床面積	住棟	1号館 RC造	1,646.30 m <sup>2</sup>	(40.06m <sup>2</sup> /戸)	
	〃	2号館 RC造	899.00 m <sup>2</sup>	(40.06m <sup>2</sup> /戸)	
	付属建物	集会所 RC造	52.58 m <sup>2</sup>		
	〃	ポンプ室 RC造	11.67 m <sup>2</sup>		
	〃	自転車置場 (A) S造	24.00 m <sup>2</sup>	(6.00m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場 (B) CB造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場 (C) CB造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
計			2,792.31 m <sup>2</sup>		
建築面積	住棟	1号館 RC造	459.74 m <sup>2</sup>		
	〃	2号館 RC造	201.88 m <sup>2</sup>		
	付属建物	集会所 RC造	52.58 m <sup>2</sup>		
	〃	ポンプ室 RC造	11.67 m <sup>2</sup>		
	〃	自転車置場 (A) S造	24.00 m <sup>2</sup>	(6.00m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場 (B) CB造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場 (C) CB造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
計			908.63 m <sup>2</sup>		
敷地面積					3,018.37 m <sup>2</sup>

※各住戸面積には共用部（廊下・屋外階段）及びバルコニーの面積は含まれていない

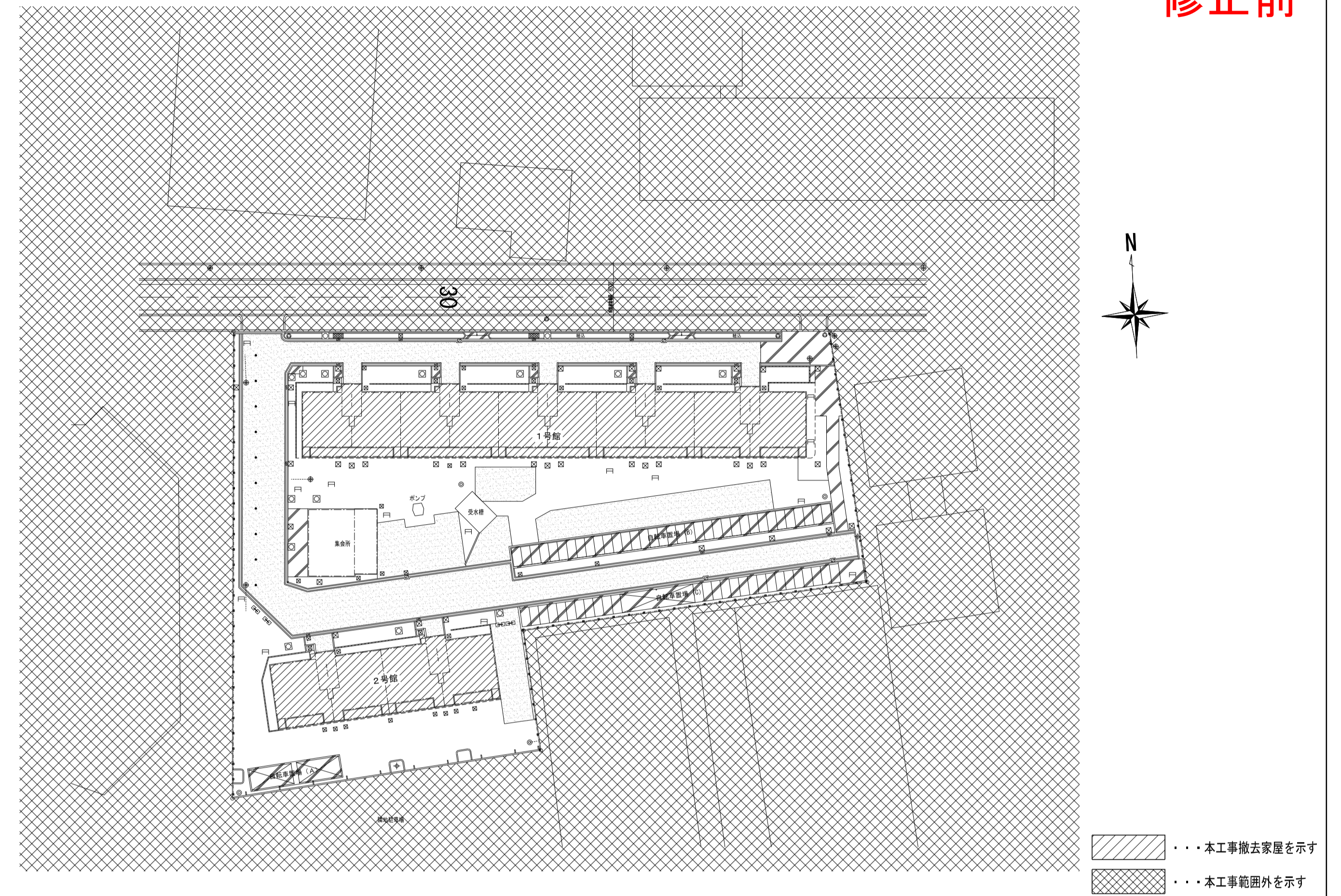
- ・ 図示範囲（撤去配置図）の解体撤去工事を行う。
- ・ 図示家屋の解体撤去（基礎撤去レベルSGL±0（SGL=図中GL）まで行う）を行う。  
ただし、図面に撤去指示のある場合は図示範囲を撤去する。  
なお、附属建物、その他の附属物（樹木、土間コンクリート、その他図示）の撤去工事（特記なき限り、基礎を含む）も本工事に含む。  
また、基礎・地中梁撤去時に、砕石は存置とする。
- ・ No. 9～ No. 57 は参考図とする。
- ・ 工事範囲内にある廃棄物（一般廃棄物、家電廃棄物、ユニットバス等、見付体積約12m<sup>3</sup>、消火器14本については、関係法令に従って適切に処分すること。）

アスベスト含有建材使用箇所表

- ・ アスベスト含有建材の撤去処分にあたっては、関係法令等（石綿障害予防規則、非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針等）を遵守し、適切に撤去処分すること。
- ・ 印はアスベスト含有建材使用箇所を示す。
- ・ 本工事図面のほか、自ら行った情報収集や現地確認等を行い、アスベストの処理計画書の作成・提出をすること。

室名	名称	仕様	室名	名称	仕様
住棟	バルコニー	手すり腰パネル フレキシブル板 t=6.0	集会所	玄関	天井 フレキシブル板 t=6.0
		物入横壁 フレキシブル板 t=7.0		ホール	床 塩ビタイル t=2.0
		隔板 フレキシブル板 t=6.0			天井 フレキシブル板 t=6.0
住棟	ダストシュート	天蓋 石綿板（太平板） t=20.0	集会所	集会室	天井（既存部分のみ） 岩綿吸音板 t=9.0
		内装 有孔フレキシブルシート t=6.0		便所	天井 フレキシブル板 t=6.0
		取出口下部 石綿板 t=9.0			
住棟	玄関	床 塩ビタイル t=2.0			
住棟	食堂兼台所	床 塩ビタイル t=2.0			
		腰壁 フレキシブル板 t=5.0			
		壁 ハンガーボード t=3.5			
住棟	洗面所	床 塩ビタイル t=2.0			
		腰壁 フレキシブル板 t=5.0			
		壁 ハンガーボード t=3.5			
住棟	浴室	焚口 フレキシブル板 t=3.0			
		出入口上垂壁 フレキシブル板 t=3.0			
住棟	和室	フスマ フスマ表面紙			
住棟	外壁	外装吹付塗材 指定材吹付			

配置図



修正前

付近見取図



大阪市淀川区西宮原1丁目

名称	木川第2住宅1・2号館解体撤去工事			原寸図面枚数 A1
図面名称	解体撤去工事概要・付近見取図・配置図	製図	平成 30年 1月	
縮尺		図面番号	No.02	(93枚の内)
大阪市都市整備局住宅部建設課 (建設設計グループ)		製図者	有限会社 徳山建築事務所	

発注図

解体撤去工事概要

工事場所：大阪市淀川区西宮原1丁目					
撤去戸数	住棟	1号館(2DK・3DK)	1棟	50戸	(10連戸)
		2号館(3DK)	1棟	20戸	(4連戸)
	計		2棟	70戸	
延床面積	住棟	1号館 R.C造	1,646.30 m <sup>2</sup>	(40.06m <sup>2</sup> /戸)	
	〃	2号館 R.C造	899.00 m <sup>2</sup>	(40.06m <sup>2</sup> /戸)	
	付属建物	集会所 R.C造	52.58 m <sup>2</sup>		
	〃	ポンプ室 R.C造	11.67 m <sup>2</sup>		
	〃	自転車置場(A) S造	24.00 m <sup>2</sup>	(6.00m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場(B) C.B造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場(C) C.B造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
計			2,792.31 m <sup>2</sup>		
建築面積	住棟	1号館 R.C造	459.74 m <sup>2</sup>		
	〃	2号館 R.C造	201.88 m <sup>2</sup>		
	付属建物	集会所 R.C造	52.58 m <sup>2</sup>		
	〃	ポンプ室 R.C造	11.67 m <sup>2</sup>		
	〃	自転車置場(A) S造	24.00 m <sup>2</sup>	(6.00m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場(B) C.B造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
	〃	自転車置場(C) C.B造	79.38 m <sup>2</sup>	(11.34m <sup>2</sup> /スパン)	
計			908.63 m <sup>2</sup>		
敷地面積					3,018.37 m <sup>2</sup>

※各住戸面積には共用部(廊下・屋外階段)及びバルコニーの面積は含まれていない

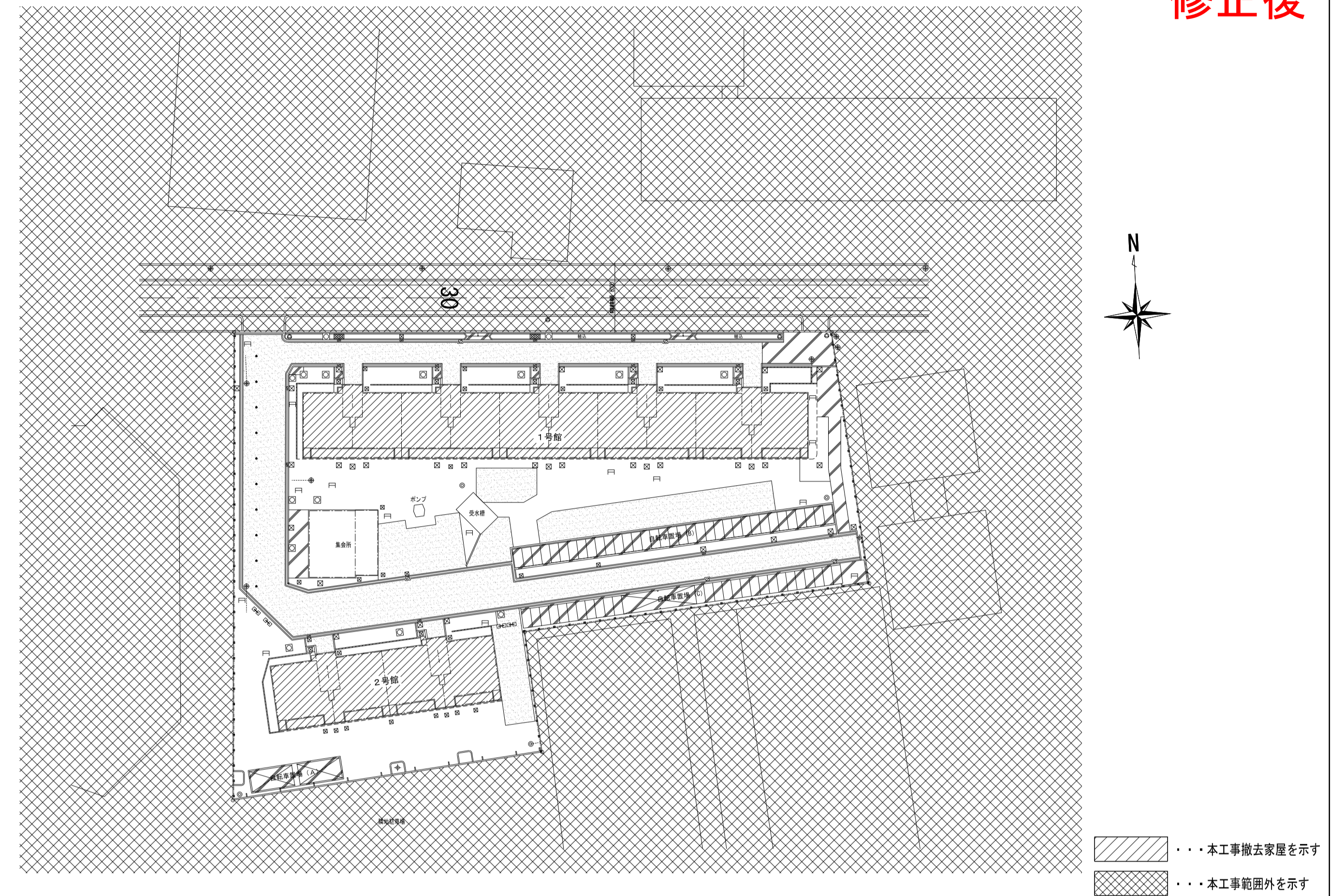
- ・ 図示範囲(撤去配置図)の解体撤去工事を行う。
- ・ 図示家屋の解体撤去(基礎撤去レベルSGL±0(SGL=図中GL)まで行う)を行う。  
ただし、図面に撤去指示のある場合は図示範囲を撤去する。  
なお、附属建物、その他の附属物(樹木、土間コンクリート、その他図示)の撤去工事(特記なき限り、基礎を含む)も本工事に含む。  
また、基礎・地中梁撤去時に、砕石は存置とする。
- ・ No.9~No.57は参考図とする。
- ・ 工事範囲内にある廃棄物(一般廃棄物、家電廃棄物、ユニットバス等、見付体積約12m<sup>3</sup>、消火器14本については、関係法令に従って適切に処分すること。)

アスベスト含有建材使用箇所表

- ・ アスベスト含有建材の撤去処分にあたっては、関係法令等(石綿障害予防規則、非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針等)を遵守し、適切に撤去処分すること。
- ・ 印はアスベスト含有建材使用箇所を示す。
- ・ 本工事図面のほか、自ら行った情報収集や現地確認等を行い、アスベストの処理計画書の作成・提出をすること。

室名	名称	仕様	室名	名称	仕様
住棟	バルコニー	手すり腰パネル フレキシブル板 t=6.0	集会所	玄関	天井 フレキシブル板 t=6.0
		物入横壁 フレキシブル板 t=7.0		ホール	床 塩ビタイル t=2.0
		隔板 フレキシブル板 t=6.0			天井 フレキシブル板 t=6.0
住棟	ダストシュート	天蓋 石綿板(太平板) t=20.0	集会所	集会室	天井(既存部分のみ) 岩綿吸音板 t=9.0
		内装 有孔フレキシブルシート t=6.0		便所	天井 フレキシブル板 t=6.0
		取出口下部 石綿板 t=9.0			
住棟	玄関	床 塩ビタイル t=2.0			
住棟	食堂兼台所	床 塩ビタイル t=2.0			
		腰壁 フレキシブル板 t=5.0			
		壁 ハンガーボード t=3.5			
住棟	洗面所	床 塩ビタイル t=2.0			
		腰壁 フレキシブル板 t=5.0			
		壁 ハンガーボード t=3.5			
住棟	浴室	焚口 フレキシブル板 t=3.0			
		出入口上垂壁 フレキシブル板 t=3.0			
住棟	和室	フスマ フスマ表面紙			

配置図



修正後

付近見取図



大阪市淀川区西宮原1丁目

名称	木川第2住宅1・2号館解体撤去工事			原寸図面枚数 A1
図面名称	解体撤去工事概要・付近見取図・配置図	製図	平成30年1月	
縮尺		図面番号	No.02	(93枚の内)
大阪市都市整備局住宅部建設課 (建設設計グループ)		製図者	有限会社 徳山建築事務所	

発注図